

総務政策常任委員会資料

令和5年11月2日

総務部

1 その他報告事項

○令和6年度当初予算編成方針について 3

【別冊】（別ファイル）

令和6年度当初予算編成方針

令和6年度当初予算編成方針の概要

財政課

予算編成の基本的な考え方

(1) 重点施策の推進等

- 「令和6年度重点施策の推進方針」に基づき、効果が高い施策を構築し、成果を検証
- 「日本一挑戦プロジェクト推進基金（仮称）」（令和6～8年度）を設置

(2) 政策推進のための財政の健全性の確保

- 優先度の高い施策等を推進するため、多額の財政負担が見込まれる事業は、将来にわたる負担の平準化を図るべく、市町村や関係団体等との適切な連携・役割分担を考慮の上、総額の抑制を図り、計画的に予算計上

(3) 年間予算としての編成

- 現行制度等に基づき見込み得る年間予算を編成。なお、自然災害対策や物価高対策など、真にやむを得ないものについては、適時に補正予算を編成

全般的事項（予算要求限度額①）

○ 原則：令和5年度当初予算額の範囲内 例外：以下に掲げるもの

(1) 3つの日本一挑戦プロジェクト推進のための事業に要する経費

➡ 別途要求

(2) 宮崎再生の着実な推進と次なる成長活力の創出のための事業に要する経費

➡ 別途要求

(3) 新規・改善事業に要する経費

➡ 事務事業の見直し結果を踏まえ、各部局に提示した要求限度額の範囲内（多様な人材の活躍推進に資する増分は別途要求）

(4) 老朽化対策を含む施設の維持管理等に要する経費

➡ 別途要求

全般的事項（予算要求限度額②）

(5) 公共事業費（事務費を含む。）

① 補助公共事業費（交付金事業を含む。）

➡ 所要額

② 県単独公共事業費のうち、維持管理経費分

➡ 所要額

③ 直轄事業負担金のうち、高速道路分

➡ 内示見込額

④ 災害復旧事業費

➡ 過去の実績を考慮した額

⑤ 国土強靱化対策と一体的に実施する県単独公共事業費

➡ 令和5年度6月補正予算額の範囲内

全般的事項（事業構築に当たっての留意事項）

➤ 新規・改善事業の構築に当たっては、スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、特に以下の点に留意

- ① 事務事業の見直しにおいて確認した課題等の分析に基づき事業を構築
- ② 事業の成果を検証するため、事業と関連性の高い指標（K P I）を設定

歳入に関する事項

- 市場公募債の発行について、共同発行形式によるグリーンボンド（グリーン共同債）への参加検討
- 企業版ふるさと納税等の寄附の積極的な活用による収入確保

歳出に関する事項

- 施設の維持管理や車両の更新等に当たっては、環境負荷と長期的コストの低減を意識

<今後のスケジュール（予定）> ・知事査定 令和6年1月中旬 ・予算案発表 令和6年2月上旬

令和6年度 重点施策の推進方針

本県は、少子高齢・人口減少の更なる進行に加えて、コロナ禍・物価高騰等やデジタル化・脱炭素化への対応など様々な課題に直面しており、今まさに大きな変化を求められている。

このような中、令和6年度は、2年目となる総合計画アクションプランの積極的な展開を図りながら、次に掲げる施策を重点的に推進していく。

1 「3つの日本一挑戦プロジェクト」の本格展開

(1) 子ども・若者プロジェクト

- ・ 出逢い・結婚、妊娠・出産の希望がかない、安心して子育てしやすい環境づくり
- ・ 新たな時代に求められる資質・能力の育成、ふるさと学習・キャリア教育の充実など未来を担う子どもたちの育成

(2) グリーン成長プロジェクト

- ・ 再造林対策の強化や循環型農林水産業の展開による産業成長
- ・ 各産業分野における脱炭素化の推進

(3) スポーツ観光プロジェクト

- ・ スポーツ大会・合宿等の受入環境、受入体制の更なる充実・強化
- ・ 地域経済への波及効果の高い大会・合宿等の誘致、スポーツツーリズムの推進

2 宮崎再生の着実な推進と次なる成長活力の創出

(1) 県民生活・経済活動の早期回復

- ・ 県民生活の安定化に向けた物価高騰等対策、困難を抱える人への支援強化
- ・ 中小企業・小規模事業者等の事業維持・拡大への支援

(2) 更なる交流拡大・活性化

- ・ 戦略的な情報発信や受入環境の整備による観光誘客等の促進
- ・ 積極的な国際・経済交流による海外からの活力の取り込み強化
- ・ 国内外との交流拡大・活性化に資する陸海空の交通・物流ネットワークの構築

(3) 人口減少への対応と新たな時代に対応した産業づくり

- ・ 女性や若者の県内就業・県内定着と移住・U I J ターンの促進
- ・ 技術者・デジタル人材、半導体関連人材など産業人材の確保・育成やリスクリングの推進、外国人材等の受入促進
- ・ 日常生活に必要な機能・サービスの維持・確保に向けた地域資源の有効活用や暮らしのデジタル化の推進
- ・ 省力化や生産性向上、イノベーションの創出に向けた産業のデジタル化・DXの推進
- ・ 成長が期待できる先端技術産業などへの支援強化

本県の強みを生かし、更なる成長につなげる 3つの日本一挑戦プロジェクト

子ども・若者プロジェクト

【目指す姿】

日本一生き育てやすい県への挑戦！
～県・市町村一丸となって、
子ども・若者政策の好循環を創出し、
人口減少を抑制～

【取組の柱と方向性】

1 出逢い・結婚の希望を叶える

⇒出逢い・結婚支援の強化

2 子どもがほしい人の希望を叶える

⇒第2子以降の希望を後押しする
施策等の展開

(6月補正)

おむつのサブスク、妊産婦健診支援 等

3 安心して子育てできる教育環境を つくる

⇒様々な環境の子どもを支え、夢や
希望を後押しする教育環境の整備

(6月補正)

高校生の海外留学支援 等

【主な指標 (R8目標)】

◎合計特殊出生率

1.63 (全国2位) ⇒ 1.8台 (全国1位)

◎婚姻数

3,805組 ⇒ 4,500組以上



グリーン成長プロジェクト

【目指す姿】

再造林率日本一への挑戦！
～再造林を核としたゼロカーボン社会と
地域資源を活用した産業成長の実現～

【取組の柱と方向性】

1 循環型林業の推進～CO2吸収と山地災害防止

⇒産学官・県民が一丸となった
再造林に係る“宮崎モデル”の構築

(9月補正)

J-クレジット申請支援

2 循環型農水産業の推進

⇒地域資源を最大限活用する
宮崎らしい取組の構築

(6月補正)

官民連携によるプラットフォーム創設 等

3 脱炭素化による成長の実現

⇒各産業部門の脱炭素経営の推進

(6月補正)

県内事業者省エネ設備導入支援 等

【主な指標 (R8目標)】

◎再造林率

73% (全国3位※) ⇒ 90%以上 (全国1位)
(※素材生産50万㎡以上の林業県/H30-R2平均)

◎粗飼料(※)自給率

88% ⇒ 100%
(※牧草など牛のエサ)



スポーツ観光プロジェクト

【目指す姿】

スポーツ環境日本一への挑戦！
～スポーツ環境の充実により、
地域経済の活性化、観光振興などの
好循環を創出～

【取組の柱と方向性】

1 世界レベルのキャンプ・大会の 戦略的な誘致

⇒競技別部会、ワンストップ窓口等
による誘致・受入体制の強化

2 戦略的・計画的なハード整備

⇒スポーツ施設整備計画による施設
の高質化

(6月・9月補正)

総合運動公園整備

<木の花ドーム・テニスコート> 等

3 県内全域のスポーツ環境の充実 (全県化・通年化・多種目化)

⇒県・市町村のネットワーク強化

【主な指標 (R8目標)】

◎フットボールチーム数 (野球・サッカー・ラグビー)

32チーム (全国2位) ⇒ 43チーム以上 (全国1位)

◎春季キャンプ・合宿の経済効果

118億円 ⇒ 150億円

